



『化学の日、化学週間 2024』報告

はじめに

「化学の日」を制定して10年を超え、「化学の日・化学週間」が徐々に浸透してきている。日本化学会「夢・化学-21」委員会主催のイベントも定着し、多くの参加者が化学を楽しんでいる。また、従来の本部、支部におけるイベントはもちろんだが、近年は、会員自身が所属する機関（企業、大学、高専、高校、中学、研究所、科学館等）などでも「化学の日」を中心に多くのイベントが実施されている。本会では、これらイベントを通じて化学の普及の一助にしてもらえよう「化学の日缶バッジ」「周期表クリアファイル」などのグッズ類を提供している。2024年は缶バッジ約1万個、周期表クリアファイル約2万7000枚が配布され、多くの子供たちの手元に化学の日や化学の面白さをアピールするグッズを届けることができた。

さらにメディアの協力も重要で、2024年は一般紙4紙（日経新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞）と専門紙2紙（日刊工業新聞、化学工業日報）が「化学の日」特集を掲載、一般の方々へも広く化学の魅力、社会と未来への貢献を周知することができた。中でも毎日新聞では会長インタビューを記事体広告として掲載し、本会が子供向けの取り組みに力を入れていることを全国にアピールできた。また、2024年の「化学の日」がCSJ化学フェスタ開催期間中だったため、会場でも記事体広告を配布した。今後も様々なルートで「化学の日」の活動をPRし、誰もが知る日になるよう取り組みを続けた

い。

本稿では「化学の日」関連のイベントをいくつかピックアップして紹介する。

イベントピックアップ

◆缶バッジデザインコンテスト

2024年度から10月23日「化学の日」を締め切りに変更し1703点の応募を頂戴した（内訳：小学生の部11点、中学生の部1021点、高校生の部509点、一般の部162点）。

最優秀賞は福井県立科学技術高等学校3年芳中柚月さんの作品で4月以降缶バッジとして全国各地のイ



イベント等で配布される予定。配布希望の方は文末記載の宛先まで連絡いただきたい。その他各賞はホームページお知らせ欄に掲載。

◆北九州市科学館 ポケットサイエンス化学体験イベント（福岡県）

10月6日（日）、12日（土）、27日（日）の3日程で北九州市科学館にてポケットサイエンス化学体験イベントが開催され、以下3つのイベントを546名が楽しんだ。イベントでは周期表クリアファイルや化学の日缶バッジが配布され化学の日のイベントの一貫として盛り上がった。

①紫キャベツを使った身の回りの水溶液の液性調べ、白衣を着て化学者になれるフォトスポット

②電気めっきを使ったキーホルダー作り、白衣を着て化学者になれるフォ

トスポット

③ダイラタンシーや割れにくいシャボン玉の体験

◆福島地区講演会（福島県）

10月15日（火）福島大学にて福島地区講演会が開催された。当日は招待講演として、大阪公立大学LAC-SYS研究所副所長で、同大学大学院工学研究科の床波志保准教授をお招きして、「微生物集積によるセンシング技術と環境浄化型発電」という題目で講演をしていただき52名が参加した。また、本イベントは「化学の日」のイベントの一部として開催され、周期表クリアファイル等が配布された。



◆「10/23は化学の日！簡単で不思議な科学実験に挑戦しよう！」（神奈川県）

10月20日（日）に、「はまぎん こども宇宙科学館」で「化学の日」の小学生向け実験教室「10/23は化学の日！簡単で不思議な科学実験に挑戦しよう！」を開催した。1回1時間の実験教室を3回（10:00～11:00、11:30～12:30、13:30～14:30）実施し、今年は参加人数が少なかったが、合計で24名が参加した。実験メニューは「冷却パックを作ろう！」、「光を分けよう！」であった。「冷却パックを作ろう！」では、尿素的溶解熱を利用した実験で、作った冷却パックが急に



冷たくなるのを感じて楽しんでいた。「光を分けよう！」では、分光シートを使っていろいろな色の光を分ける実験を行った。光の三原色の学習にも役立った。「化学の日」の実験教室に参加して、参加者は化学（科学）の楽しさを感じたことと思う。参加者には、「化学の日」の缶バッジと周期表クリアファイルをお土産として配付した。

◆大阪教育大学公開講座 中学生のための楽しいかがく教室（大阪府）

11月9日（土）大阪教育大学にて中学生のための楽しいかがく教室が開催され、41名が参加した。当日は「葉脈標本を作ろう！」「錬金術師になろう！」「身近な金属から出る不思議な炎の色・野菜の力でロケットを飛ばそう！」などの合計8講座の実験を用意し、1講座60分で二コマの実験を実施した。身近なものを使った実験から、大学の実験室ならではの体験ができる実験まで様々な実験を体験してもらい、参加者からは「実験の仕組みや説明を丁寧に教えてくださりありがとうございました。次回もまた来ようと思います」「理科だからこそ見れる、不思議な



ことや、美しいものを見ることができて、本当によい経験となった。また、化学を勉強していきたい」などの感想を頂戴した。

◆こども見学デー佐賀大学唐津キャンパス一般公開（佐賀県）

11月10日（日）佐賀大学唐津キャンパスにてこども見学デーが開催され、110名が参加し以下の実験を楽しんだ。①バスボムを作ろう、②植物のDNAを見てみよう、③アロマハンドジェルを作ろう。また、参加者には周期表クリアファイルなどのお土産も配布された。



◆夢・化学-21 化学への招待-化学実験教室-（岡山県）

11月23日（土）岡山理科大学にて夢・化学-21 化学への招待-化学実験教室-が開催され、32名が実験に参加した。実験教室は高校生向けに有機合成実験、サケ白子からのDNA抽出、マイクロ波加熱による発光材料の合成、岡山デニムの色素を合成してオリジナルハンカチを作ろう、の4つのテーマで開催された。また、化学・理科に関するグッズを展示し、未就学児～大学生・保護者ら多数の見学者に実際に手に取って体験してもらった。



◆埼玉大学理学部一般公開企画「理学部デー 2024」（埼玉県）

11月23日（土）大学祭に連動した理学

部一般公開企画として、理科実験を通して児童・生徒・学生・一般社会人の方を対象に科学に親しんでもらうことを目的に参加型理科実験を実施し、100名が参加した。化学に関連する分野として、ルミノール反応による化学発光、ポリビニルアルコールとホウ砂水溶液を混合してスライムを作るという内容で実演および参加型実験を行った。ルミノール反応はドラマやアニメでも登場することもあるが、実際の反応を目にしてみたいという興味で参加する姿が見られた。スライムは蛍光色素で着色したものを作成したが、子どもから大人まで参加者が楽しそうに実験をしていた。実験参加者には周期表クリアファイルがお土産として配布された。

◆千葉市科学館「化学月間 2024」（千葉県）

10月19日（土）～11月9日（土）の間、千葉市科学館は「化学月間 2024」を開催した。会期中にはボランティアによる化学実験講座や化学講演会などが開催された。また、記念品として化学の日缶バッジや周期表クリアファイルが配布され、来場者を楽しませた。

4月から2025年版周期表クリアファイルと缶バッジの配布を実施しています。

日本化学会、化学の日の普及活動のために上記グッズをご希望される方はE-mail: pr@chemistry.or.jp までご連絡下さい。

〔飛渡久美子（日本化学会）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan